

KOCHI 2023 ROTARY 2024 CLUB SINCE 1937



世界に希望を生み出そう
2023-24年度 RIテーマ

週報



Weekly report 第3573回

2024年 1月16日 2024年1月23日発行

● 会長挨拶



皆さん、こんにちは。元旦に能登半島地震が起こってはや半月が過ぎました。日を追うごとに詳細なニュースが流れて、全体的な被害状況が見えてきました。思った以上に被害が大きくて、今日の新聞にも、輪島の中学生250人余りが集団避難をするとか、大雪の警報が出ていて、地震で傾いた家が雪で潰れてしまうのではないかとといった記事が出ています。火災に遭った輪島の朝市には、昔、私も遊びに行っていたことがあります。今、高知の日曜市にも多くの観光客が訪れていますが、こちらも南海トラフという大きなリスクを抱えています。改めて、他人事ではないなと思います。

この地震に関して、全国33地区のガバナーに支援要請がありました。それを受けて、2670地区のガバナー事務所から正式に支援金の依頼があり、2月22日までに各クラブで

取りまとめてほしいとのことです。昨日、高知市内8RCの会長幹事会が開かれましたが、各クラブとも金額や方法等はまだまだ決まっていないとのことでした。日程的に余裕がありますので、当クラブでも2月6日の理事会で協議をして決めたいと思っています。なお、今までの事例を見ると、東日本大震災、熊本地震など大きな災害に関しては、全体の金額は様々ですが、当クラブは会員全員から一定額の支援をお願いしていますので、今回もそういった方向で協議をしていきたいと考えています。ご理解、ご協力をお願いしたいと思います。

1995年、阪神・淡路の震災が起こってから、もう29年が経ちます。東日本が2011年ですから13年前です。地震対策のハード面は、この間に進んできたと思いますが、いざとなると、やはり人やソフト面、運用面でいろいろと見えてきて、個人としても、企業としても、改めて今回の地震をきっかけに対策を整理して、見直していく必要があるのかなと思っています。



■本日のプログラム [1月23日]

新会員スピーチ

日本銀行 高知支店長 藤原文也 会員
「日本銀行高知支店 開設80周年を迎えて
— 今後も地域の皆さまとともに —」

会 長	中 澤 陽 一
副 会 長	中 島 和 代
幹 事	細 田 長 司
副 幹 事	入 交 英 太
会報責任者	小 林 達 司

● ローターリーソング 「四つのテスト」

● 来訪ロータリアン

高知南RC 三谷剛平氏



● 幹事報告

・理事会の議事録をボックスに入れていますのでご覧ください。なお、4月22日から24日の3日間で少人数での情報集会を行いますので、スケジュール調整をお願いします。

● ゲストスピーチ

“新型コロナパンデミック”を超えて！ 地方発スイーツ工房のチャレンジ

㈱スウィーツ 代表取締役社長 春田 聖史 氏



お菓子屋さんが地方で生きていくためには、うちのお菓子を買っていただく理由が必要です。ただし、買ってもらうために「この商品おいしいですよ」というのはNGで、その言葉をお客様に出してもらうために、いろんなことを考えていくのが

販促活動だと思っています。どんな材料が使われて、パティシエがどんな技術を持っているかをお客さんに伝えることは大事ですが、中でも、原材料がどれぐらい良いものかを客観的に伝えることは大きいと思います。

例えば田野屋塩二郎のラスクは田野屋さんで作っていると思われがちですが、そうではなくて、田野屋塩二郎のお塩がおいしいからできたラスクで、あまり手に入らないおいしいお塩を使うところに、僕らの思いが詰まっているので、僕らにとっては“塩二郎さんのラスク”でいいわけです。もう一つ、最近、室戸のお芋を使ったロールケーキの会社という割と知ってくれていますが、僕らがこのお芋に十数年前から惚れ込んで、一緒に商品開発をしてきて仕上がったロールケーキにこそ意味があります。

また土佐山の雪ヶ峰牧場。ここの牧場は、東京ドーム25個分ぐらいの広い所に、わずか60～70頭のジャージー牛という濃厚なミルクの出る牛を飼っています。ミルクを見た瞬間に、これでスイーツを作ったらおいしいよねと思わせる環境です。また、足摺の大岐の浜にほど近いところで、無農薬のサトウキビを使って、現在十数軒が足摺黄金糖というブランドの黒糖を作っています。今後、こちらとも一緒にブランドを作っていこうとしています。

洋菓子というのは、ライフサイクルが短いイメージをお持ちの方もいらっしゃると思いますが、高知で何十年も続いているおいしい物を、誰も古いというはずがありません。そういったブランドと僕らは一緒に組ませていただいて、そのブランドを世に出す。その代わり、僕らも一緒に連れていってもら

うといったものづくりをしています。

この10年ぐらいは県外のギフト、首都圏のホテルのOEMなどをしていましたが、アイスブリュレという商品がヒットしたことがきっかけで、全国の冷凍スイーツの市場に広がっていきました。そして2015年の秋口、首都圏の商売を全部切って高知から発信しようということで切り替えました。その後、順調に伸びてきて2019年にはお土産の販路がかなりしっかりとしてきました。例えば田野屋塩二郎シューラスクがお土産業界で認知度が上がり、2019年には、うちの商売の50%ぐらいを占めるようになっていました。ですから、お土産業界は結構手堅いなと勝手に判断してこのままいくんじゃないかと思っていたところへ、新型コロナという大きなトピックが飛び込んできました。

正直、もうお先真っ暗というところになりました。1月、2月はあまりお土産が売れる時季ではありませんので、3月、4月に稼がないといけないのですが、2019年2月中旬以降、突然風向きが変わって、売上は3月辺りからガクッと下がりました。4月、5月に関してはお土産ルートは9割減となって、作っても出口がないところまで落ち込みました。作ってもお土産売り場では売れない。スーパーでも、帰省されたお客さんはいないわけですから、こちらの販路もしぼんでしまった。そこで、とにかくやれることは何でもやってみようと考えました。

それまでもいろんなことはやってきたはずですが、ところがそれを忘れて、お土産1本でいけるんじゃないかと思ったのが間違いで、売れない物は売れない。では、どうやって売っていくかということに一旦切り替えていきました。

まず1つ目、売り方の転換。当時、お土産売り場には試食コーナーがあって、ワイワイ言いながら買うという形でしたが、人はいないしコロナの関係で試食コーナーはなくなりました。そこで、小さいお菓子を個包装にして試食用にしました。正直、お客さんがいないのでこれによって売上が伸びたわけではありませんが、火が消えたような売り場にちょっとしたお客さんに触れる話題ができると、売り場の方が喜んでくれました。売り場の方も何かをしたいという中で、これを紹介できるよねということで、とても喜ばれました。これは、コロナが明けたときには、僕らにとっても大きな力になる



だろうと思いました。

次に販路の転換。全国の生協などに一斉に商売をかけました。当時、コロナ禍で巣ごもりになっているところへ届けてくれる生協さんは、とても喜ばれてパンク状態でした。そこにねじ込んでいったということです。箱のお土産は需要がありませんので、まず商品の見せ方を変えて販路を変えていこうと。同じ商品でも、その市場の中で多少なり勝てる物に変えていきました。

また、これまでの10年間、1度もCMや宣伝はしたことがなかったのですが、2020年5月のゴールデンウィークのときに初めて新聞広告を打ちました。その頃の新聞には元気のある広告はありませんでした。僕らも最初は商品を載せようとしたのですが、だんだん商品じゃないなと思い、お菓子の中に当たりがあるキャンペーンのお知らせだったり、また、マスクが手に入らないころでもありましたので、マスクの作り方がもらえるとか、とにかく元気が出るような広告にしました。

さらに、全国に発送したお菓子に申込券を付けて、遠くは沖縄から東北まで、全国のお客さんとオンラインのズーム会議みたいな形で、生産者の思いを聞きながら食べようというキャンペーンを行いました。高知新聞さんやテレビ局さんも面白くなって、大きく取り扱っていただきました。当時は、人を外に誘導するような取り組みはやめてほしいということでしたので、自分でもよくこんな面倒なことをしたなと思いますが、当時の一つのスタイルとして取り組みました。

田野屋塩二郎さんが、うちがお土産で苦戦しているのを知って、小さいお塩をいっぱい作って工場に届けてくれまし

た。2年待ち、3年待ちと言われているお塩が、うちのお菓子を買ったらもらえる。実は、お菓子よりお塩の方が価値があるといったようなこともしながら販促をしていきました。これなんかも本当に苦しいときにありがたかったですね。

経営方針の転換。売上は本当に行き詰まったのですが、工場は止めませんでした。医療従事者の方など、僕らよりもしんどい人がいるということがスタッフの間で出て、売れないんだったらせめて他の誰かに喜んでもらおうと、2020年から2023年まで医療機関にうちのお菓子を届けました。作るか作らないのか、休むのか休まないのかといったこと。あるいは、初めてうちのお菓子を食べて、喜びのお声をたくさんいただいたことは、我々にとって大事なモチベーションになりました。

おかげ様で、2022年には過去最高まで売上を戻し、2023年の8月にはシンガポールで行われた、につぼんの宝物世界大会で、僕らと塩二郎さんのチームが高知県勢として初めてのグランプリをいただきました。また、地域との三者協定も結び、香美市に約2,000坪の工場も建てることができました。こういった形で、塩二郎さんであったり、地域の後押しをいただいて、何とかコロナ禍を乗り越えて長いトンネルを抜け出しつつあります。

最後に1点、(株)スイーツの創業者である福永の夢だった完全給付型の奨学金が「ともしび奨学基金」として2022年に実を結び、1人目の学生さんを送り出すことができました。小さいことではありますが、(株)スイーツがバックアップして、一つの事業としてこれから少しずつ広げていこうとしています。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



◇ 出席率 ◇					
	総数	出席	欠席	メイキャップ	出席率
1月16日	(-6)89	55	22	6	73%
1月2日	ロータリー休日				

◇ 例 会 変 更 ◇

高知東RC	1月24日	職場例会(阪)	高知南RC	1月25日	職場例会(阪)
高知西RC	1月26日	ロータリー休日(三)	高知北RC	1月29日	職場例会(三)
高知RC	1月30日	職場例会(三)	高知ロイヤルRC	1月30日	ロータリー休日(高)
高知中央RC	2月 1日	創立記念夜間例会(城)	高知北RC	2月 5日	絵本贈呈式(三)
高知ロイヤルRC	2月 6日	立春夜間例会(高)	高知東RC	2月 7日	観梅夜間例会(阪)
高知ロイヤルRC	2月13日	定款第8条第1節により休会(高)	高知南RC	2月15日	ご長寿祝い例会(阪)
高知中央RC	2月15日	建国記念日に振替の為休会(城)	高知西RC	2月16日	古希・還暦祝賀夜間例会(三)
高知RC	2月20日	ロータリー創立記念夜間例会(三)	高知ロイヤルRC	2月20日	定款第8条第1節により休会(高)
高知南RC	2月22日	天皇誕生日に振替の為休会(阪)	高知中央RC	2月22日	天皇誕生日に振替の為休会(城)

※例会場ホテル：(三)…三翠園(城)…城西館(阪)…ザクラウンパレス新阪急高知(高)…高知プリンスホテル

 **ニコニコ箱** 【敬称略】

- 中島 和代** 今日は(株)スイーツの春田さんのスピーチでした。常に笑顔で活躍されていますが、本当に久しぶりにおいでできました。いつも軽やかに、高知の素材を活かしているのを頼もしく見させていただいています。ありがとうございました。お礼のニコニコです。
- 藤原 文也** 遅くなりましたが、年始には妻の誕生日に素敵なお花をお送りいただきありがとうございました。先週末に出張で東京に行った際に、妻が嬉しそうに家に飾ったお花のことを話してくれました。本年もどうぞよろしく願いたします。
- 中田 由季** 主人の誕生日にきれいなお花をありがとうございました。年末にお届けいただき、今年もまたお正月用のお花も兼ねて玄関に飾り、華やかな年始を迎えることができました。感謝です。今年もどうぞよろしく願いたします。
- 細田 長司** 先週は誕生日のお祝いをしていただきありがとうございました。本来、先週にニコニコすべきでしたが、バタバタしていて失念していました。申し訳ございません。
- 寺本 武司** 1月の33会で初めて優勝させていただきました。一緒にラウンドした津野さん、荒井さん、新谷さんらのメンバーにも恵まれ、1日楽しくプレーできました。優勝はハンディキャップのおかげもあり、これからも謙虚にゴルフに精進します。
- 寺田 文彦** 1月1日の能登半島地震に際して災害支援チーム(DMAT)が出動しました。懇意の病院も被災に遭いながら懸命な救助活動を行っています。災害備蓄食を直送し、これからのクラウドファンディングに寄付をして、できるだけ支援をしてゆきたいと思っています。DPAT(精神)、JMAT(医師会)、AMAT(全日病)、DRAT(リハビリ)など様々なチームが支援活動に出て長期戦に備えています。きたるべき東南海地震に本気で備えるときが来たと思います。

◎1月14日(日) 33会第406回例会が開催されました

当日は天候もよくて最高のゴルフ日和でした。
参加者は、16名。場所は、土佐カントリークラブ(室戸・桂コース)
優勝者は、アサヒビールの寺本さんさんでした。
次回開催は、黒潮カントリークラブで2月11日になります。

寺本さんの優勝スピーチ

1月とは思えない暖かきの絶好のゴルフ日和、お粗末なスタートで始まりましたが津野さん、奈々絵さん、新谷さんの同組メンバーに恵まれ、時折りティーフランドに顔出しして頂いた千頭さんの時だけナイスショットを打て、またハンデにも恵まれ、ほぼ他責で優勝出来ました。これからも謙虚にゴルフを続けていきます。引き続き宜しくお願い致します。



● 累計額 [1月16日現在]

ニコニコ箱	494,800円	ロータリー <small>さんさん</small> 基金	154,260円	ポリオ募金	264,600円
-------	----------	------------------------------	----------	-------	----------

■次週のプログラム [1月30日]

職場例会 キネマM 12:30~

◆2月6日 ゲストスピーチ

高知北ロータリークラブ直前会長
(株)テレビ高知映像 代表取締役専務 尾崎 泉氏
「楽しいものづくり」

創 立
例 会 日
例 会 場
事 務 局
E-mail
HPアドレス

昭和12年10月

火曜日 12:30~13:30

三翠園ホテル TEL(822)0131

高知市本町3丁目3-39 高知放送南館8階

TEL(824)8660 FAX(824)2529

shinairc@joy.ocn.ne.jp

http://www.221.ne.jp/kochirc/